

もう悩まない!! 雨とい詰まりの 最終兵器

カミセイ
落ち葉よけシート

10年後も変わらない清潔さ。
特許取得の「あながない」特殊凹凸シート。

株式会社 神清

高耐候性ポリエチレン製

雨とい用落ち葉よけ

放置厳禁！雨とい詰まりが招く「3つの住宅リスク」



建物への 致命的ダメージ

あふれた雨水が外壁や基礎を侵食。雨漏りやシロアリ発生の直接的な原因になります。



予期せぬ 高額な修繕費用

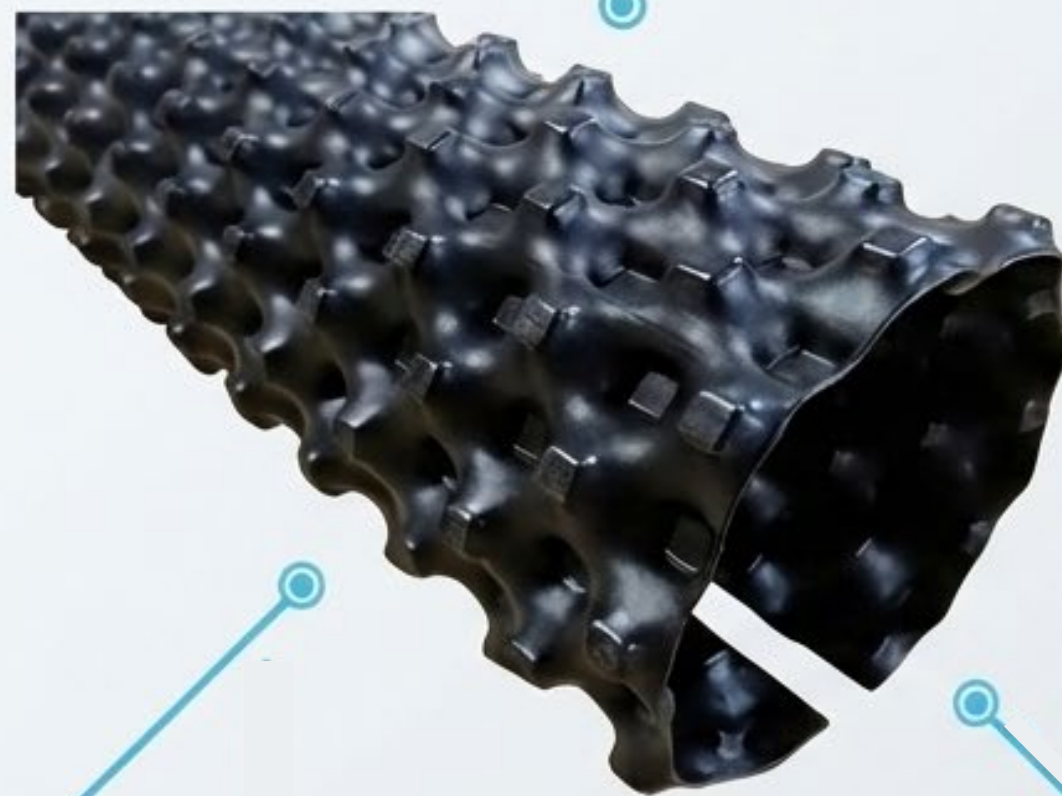
詰まりによる雨といの変形・水漏れ。放置して交換修理になれば「15万円以上」の出費ケースも。



雨樋掃除時の 高所作業リスク

はしごを使ったDIY掃除は転落事故の危険大。業者へ依頼するたびに数万円のコストが掛かり続けます。

独自の特殊凹凸形状で、 落ち葉もゴミも「完全遮断」



究極の「あながない」構造

ネットではないため、松葉などの針葉樹、細かい枝、繊維質、土埃する内部への侵入を許しません。

現場で自在な加工

ハサミやカッターで簡単にカット可能。
樋のサイズに合わせて円弧を変形し、
あらゆる形状にぴったりフィットします。

10年以上の高耐候性

10年間の定点観測でも破損・性能低下が
少ない「高耐候性ポリエチレン」を使用。
過酷な屋根上環境に耐え抜きます。

特許取得! 「表面張力」で水だけを導く独自のメカニズム

1 落ち葉の侵入を防ぐ

特殊凹凸形状で、落ち葉・細かい枝・繊維質等の侵入を防ぎます。



👉 動画でもご紹介中!



2 表面張力による巻き込み

水は表面張力によってシート表面に沿って伝い、シートの両端部から樋へ流れ込みます。(樋内はトンネル効果で排水が容易)

風の中で「自動クリーニング」。 厄介な屋根掃除から解放。



ゴミが堆積し続けない理由

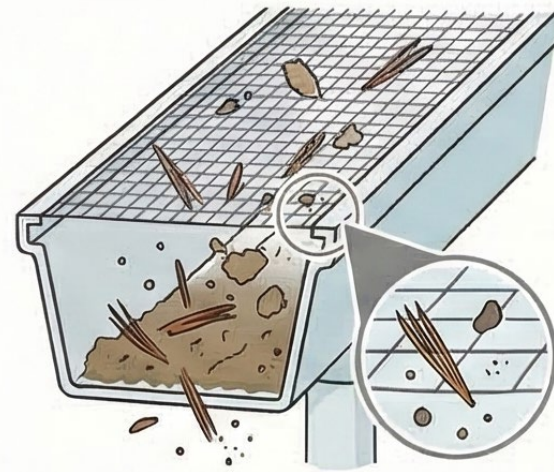
あながない表面で完全にブロックされた落ち葉やゴミは、乾燥すると自然の風で吹き飛ばされます。

省メンテナンスの実現

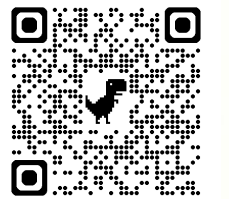
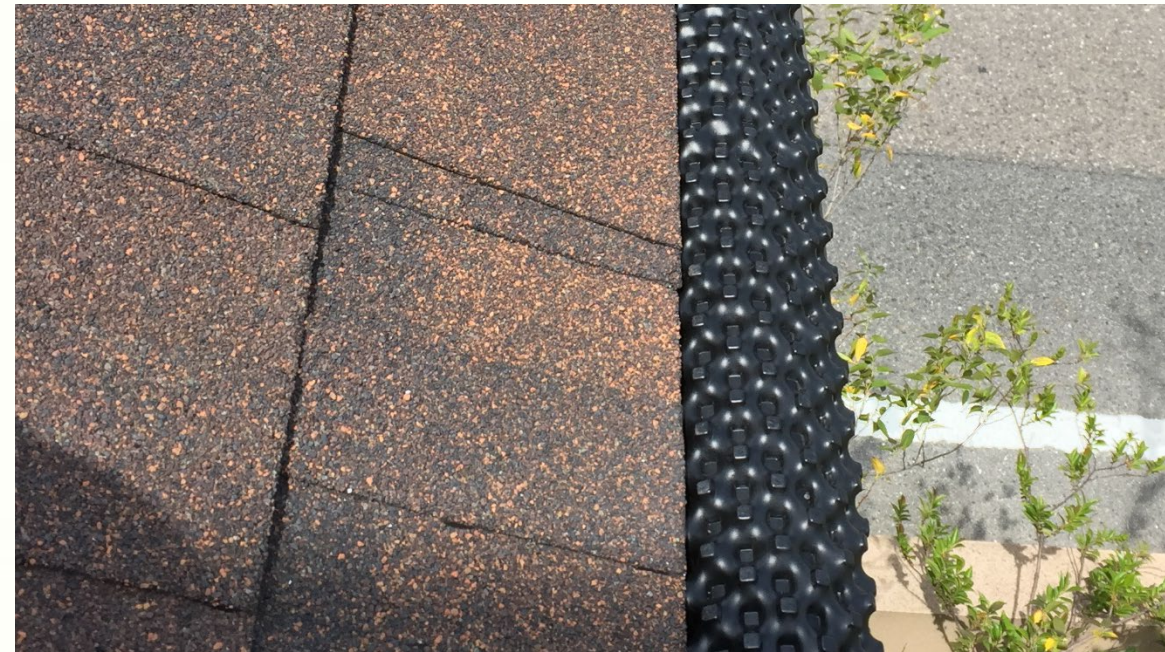
ネット型のように「網目に細かいゴミが絡まる・通過する」ことがないため、危険を伴う定期的な掃除の手間を劇的に削減します。

徹底比較：10年経っても変わらない内部の清潔さ

従来型ネット



カミセイ 落ち葉よけシート



動画でも
ご紹介中！



細かいゴミの侵入
針葉樹の葉、細い枝、繊維質、土埃が内部へ浸入。



細かいゴミの侵入
「あながない」ため完全に遮断。



10年後の樋内部
内部で泥・腐葉土が溜まり、結局掃除が必要に。



10年後の樋内部
ゴミが入らないため、クリアな水路を維持。



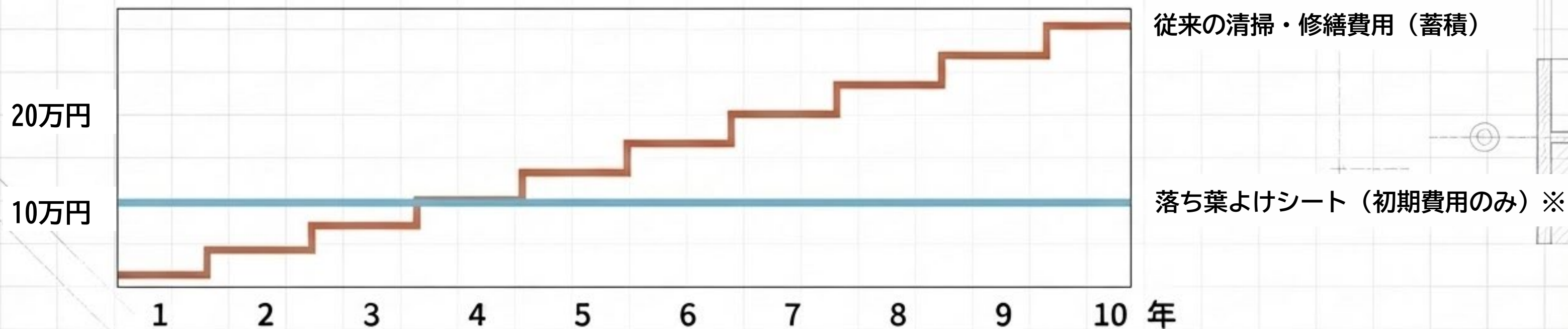
メンテナンス頻度
定期的にネットを撤去して掃除が必須に。



メンテナンス頻度
自然風による自動クリーニングで頻度激減。

一度の設置で、メンテナンス費用を劇的に削減

「築15年・2階建て・近くに公園があるAさん宅」 10年間のコスト比較



雨といメンテナンス費用の目安

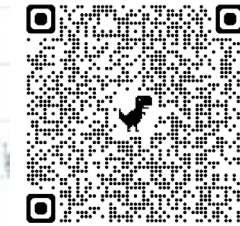
	項目	費用目安	備考
1	業者への掃除依頼	25,000円~/回	毎年かかり続けるランニングコスト
2	雨とい交換修理	150,000円~	掃除では解決できない場合の最終手段
3	落ち葉よけシート	材料代3,000円/m~	一度の設置で長期的なコスト削減を実現する最適解

※10年間の定点観測にて高い耐久性を確認しておりますが、実際の効果や耐久年数は、設置環境(日照条件、気象条件、周囲の樹木の種類や量)および雨樋の形状・状態によって異なる場合があります。

あらゆる雨といにフィット。充実の製品ラインナップ



瓦・スレート・板金屋根・アスファルトシングルなど様々な屋根に対応



樋種類
参考断面図！

品名	用途	サイズ	付属品
標準品	一般住宅(半丸105・PC50用)	幅220×1200mm	被覆銅線(L650)
テラス用	テラス・カーポート用	幅120×1200mm	銅線なし
特注品 275	大型住宅用樋	幅275×1200mm	被覆銅線(L800)
特注品 360	工場用樋	幅360×1200mm	被覆銅線(L800)
特注品 550	大型内樋	幅550×1200mm	被覆銅線(L1000)

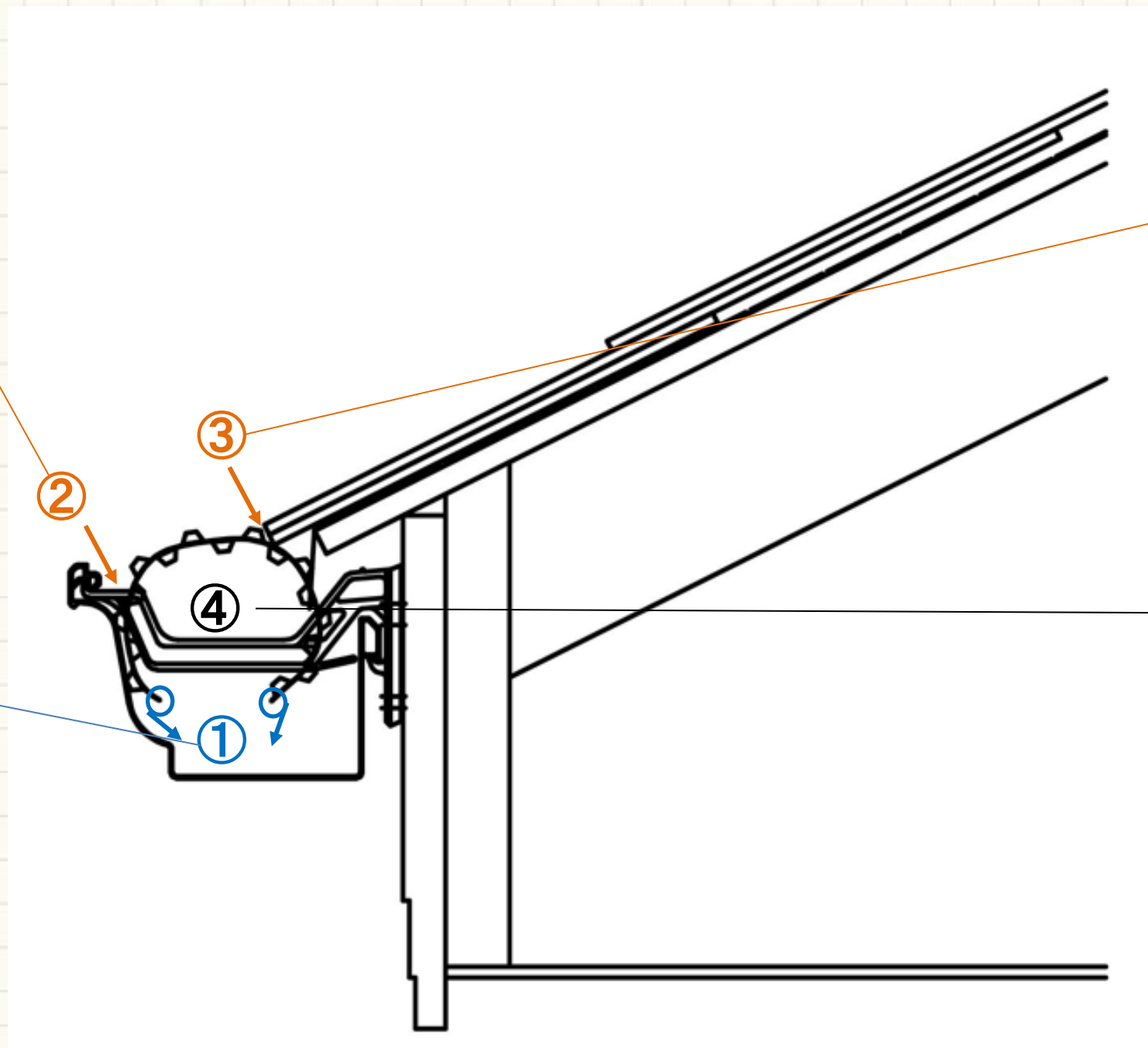
「落ち葉を入れない・雨を入れる」ための施工ポイント

② 落ち葉を入れない

落ち葉よけシートと軒樋の先端を密着させる

① 雨水を入れる

落ち葉よけシートの両端部は軒樋の底板へ向けて設置する



③ 落ち葉を入れない

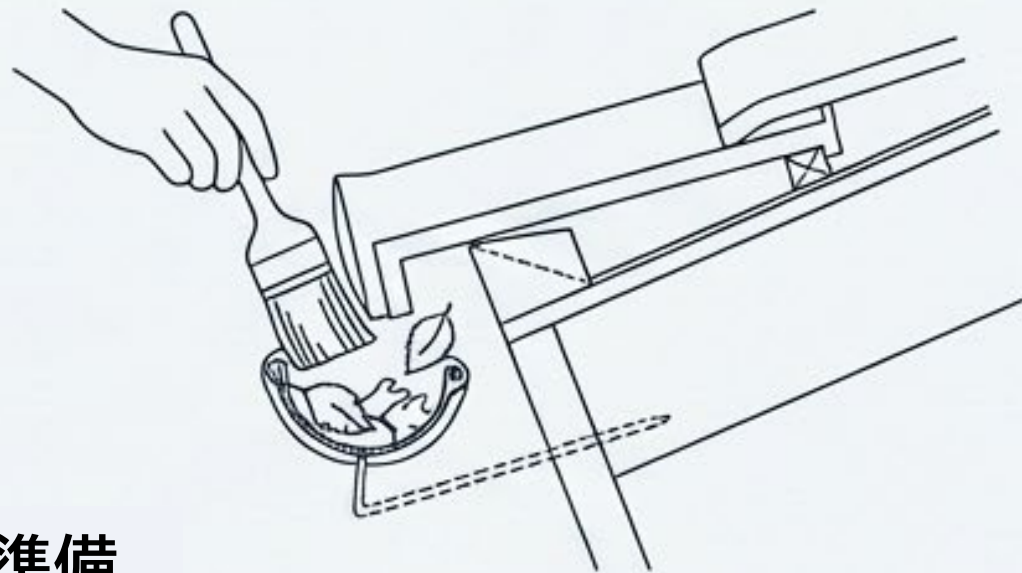
落ち葉よけシートと屋根材or軒先水切りを密着させる

④ 金具の確実な回避

樋吊り金具と干渉する場合は、シートに切り込みを入れて内側に折り曲げる

樋と屋根材の間に納めて縛るだけ。シンプルな施工作业

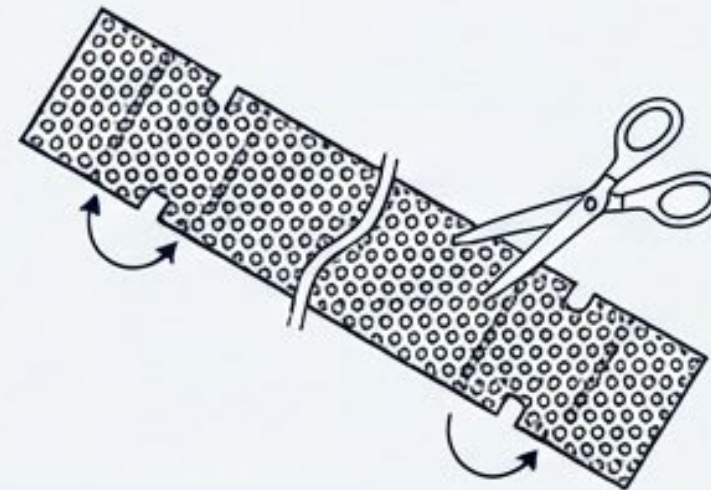
Step
1



Step 1: 準備

樋内部の掃除を行い、あらかじめ被覆銅線を樋の裏側に通しておく。

Step
2



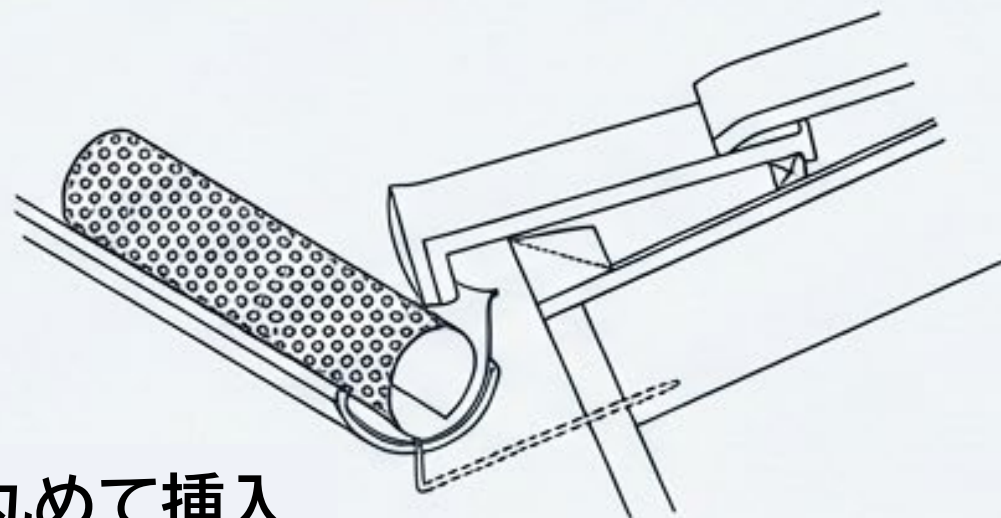
Step 2: 切り込み

吊り金具の幅に合わせて、ハサミでシートに切り込みを入れ、曲げる。



👉 施工手順!

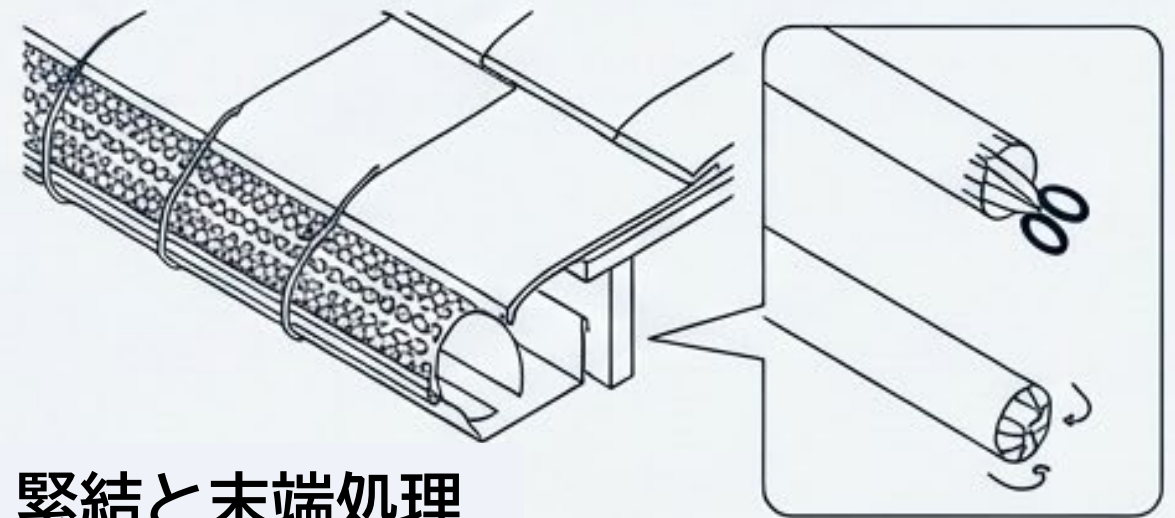
Step
3



Step 3: 丸めて挿入

シートを丸めて樋と瓦の間に差し込み、両端部を下向きに設置する。

Step
4



Step 4: 緊結と末端処理

1本につき3箇所を銅線で緊結。端部は切り込みを入れて折り返し、鳥の巣防止のフタを作成。

安全に長くご使用いただくために（保管・施工上の留意点）



作業時は製品端部でのケガ防止のため軍手を着用してください。



保管時は立てた状態で、直射日光・高温を避けてください。

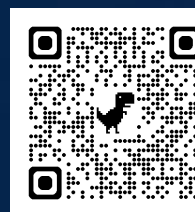


飛散防止のため、必ず軒樋・樋吊り金具に専用銅線で緊結してください。

製造・販売元：株式会社 神清（かみせい）

URL : <https://www.kamisei.co.jp>

愛知県半田市八軒町28番地 | TEL : 0569-22-4711 | FAX : 0569-22-9367



👉 発注はこちら！